

おおむた 市議会だより

第185号

平成25年度
第1回臨時会 第2回定例会
平成25年(2013年)8月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降



七夕おはなし会

(7月6日 市立図書館)

【主な記事】

●平成25年度議会報告会を開催します/ぎかいのわだい(2ページ)

●安心して生活できるまちを目指して/トピックス(13ページ)

●匠の技～伝統の技が光る大蛇山の製作現場/おおむた自慢(14ページ)

も
く
じ

■ぎかいのわだい 2

二元代表制の一翼を担う責任を果たすために
～平成25年度議会報告会
議会改革をさらに進める体制が整う～新たな議会構成

■本会議運営のあらましほか 5

第1回臨時会、第2回定例会、歓迎議長室、議会日誌、
他議会からの行政視察、議案等の審議結果

■代表質問(4人) 7

光田茂議員、森田義孝議員、今村智津子議員、北岡あや議員

■一般質問(7人)ほか 11

塚本二作議員、古庄和秀議員、塩塚敏郎議員、徳永春男
議員、平山光子議員、田中正繁議員、吉田康孝議員、
トピックス「安心して生活できるまちを目指して」、イン
フォメーション

■連載 おおむた自慢ほか 14

おおむた自慢「匠の技～伝統の技が光る大蛇山の製作
現場」、編集後記



平成25年度
議会報告会を
開催します

二元代表制の一翼を担う

■二元代表制とは

立法府を構成する議員と、行政の長をそれぞれ住民の直接選挙で選ぶ制度で、「議院内閣制」とは対照的な概念です。二元代表制では、議員は法律や予算などを審議・決定する権限をもちますが、その執行は行政の長が責任をもつため、立法権と行政権の分離を徹底できる利点があります。日本では憲法93条で、地方自治体の首長と地方

議員を住民が直接選挙で選ぶ二元代表制をとるよう定めています。

したがって、市民の皆さんから選挙で選ばれた議員が、直接皆さんに報告したり、意見をお聞きすることができる議会報告会は、大変重要な機会であると考えています。

■今年は9会場

大牟田市議会では、下表の通り、

8月に市内9会場で、議会報告会を開催します。今回は、午前10時からの開催を2カ所設定しています。また、より参加していただきやすくするために、開催場所を1カ所増やし、今年は9カ所で開催します。さらに今年は総合福祉センターにおいては、手話通訳と要約筆記を取り入れて開催します。お近くの会場にぜひお越しください。お待ちしております。



(平成24年度議会報告会の様子 手鎌地区公民館(写真左)、吉野地区公民館(同右))

開催日程・会場

開催日	時 間	会 場	主 な 対 象 校 区
8月5日(月)	午後7時～8時30分	吉野小学校体育館 ミーティングルーム	銀水、上内、吉野、倉永
8月7日(水)	午後7時～8時30分	三池地区公民館 研修室A	高取、三池、羽山台
8月10日(土)	午前10時～11時30分	勝立地区公民館 研修室	天の原、玉川
8月19日(月)	午後7時～8時30分	手鎌地区公民館 研修室A	明治、手鎌
8月21日(水)	午後7時～8時30分	総合福祉センター 大会議室	白川、平原
8月23日(金)	午後7時～8時30分	大正小学校体育館 ミーティング室1	大正、中友
8月26日(月)	午後7時～8時30分	三川地区公民館 研修室AB	みなと、天領
8月28日(水)	午後7時～8時30分	労働福祉会館 中ホール	上官、大牟田
8月30日(金)	午前10時～11時30分	駛馬地区公民館 視聴覚室	駛馬南、駛馬北

※各会場とも駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関、乗り合い、バイク、自転車、徒歩などでお越しください。



責任を果たすために…

2部構成で報告します

第1部 平成24年度の議会報告会で出された意見等に対する、議会の対応について

- ①光ファイバー回線未設置地域の解消について
- ②近代化産業遺産の保存・整備について
- ③その他（中学校給食センター、消防庁舎建設等）の経過報告について など



それぞれ建設予定の中学校給食センター(左)と消防庁舎(下)



第2部 議会活動や議会改革に関する取り組み状況について

- ①「三川坑跡の保存・活用に関する決議」について
- ②議会改革の取り組みについて など



三川坑跡

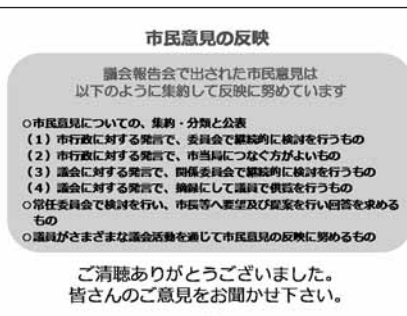
報告予定のスライド(案)

1. 光ファイバー未整備地区の解消に向けて

23年10月	議会報告会で要望が出される
23年11月17日	議記に記録して情報部が提出される
23年12月7日	総務委員会での審議
23年12月27日	本会議において多数の議員が賛同を行う
23年12月28日	総務委員会での協議
24年3月	実施計画のための「地域情報通信基盤調査費」が予算計上
24年度	地域情報通信基盤調査を実施



整備事業の内容
25年度（総合計画中期基本計画第2期計画）大牟田市情報化計画2013～2015に地域情報通信基盤整備事業を盛り込む。
24年度に行った「大牟田市地域情報通信調査」の結果をもとに、従来の維持管理費を賄えない施設に限り方式を前倒しとして、平成25、26年度の2カ年で整備を図る。



三川坑跡及び周辺施設の活用策に係る検討組織を設置

〔総務委員会〕

7月5日の委員会で「三川坑跡活用検討審議会」、「三川坑跡及び周辺施設を考えるみんなの会議」の設置と委員構成について説明を受けました。市民公募もあり8月から開始されます。

児童生徒体力・運動能力調査結果について

〔市民教育厚生委員会〕

6月7日の委員会で、上記についての報告を受けました。本市の小学生の体力は、男子は全国平均をやや下回り、女子はやや上回っている。中学生の体力は、男子は全国や県平均をやや下回り、女子はほぼ同様であるとの報告がありました。

地域防災計画の見直し

〔都市環境経済委員会〕

6月7日の委員会で、上記について、大牟田市防災対策検討委員会でまとめられた同計画策定に当たっての主な検討テーマについて報告を受け、同計画の骨子、さらには25年度水防計画案の説明を受けました。

議会報告会では多くの声を

〔議会改革特別委員会〕

いよいよ議会報告会が始まります。そこで出された意見等については、9月の本会議や決算特別委員会等で議員がその考えを市当局に質問したりします。

今年は、昨年までの8会場に加え、大正小学校でも開催することになりました。



議会改革をさらに進める体制が整う

～ 三宅智加子副議長を選出、議会改革特別委員会は10人に拡充～

市議会第1回臨時会が5月20日に開催され、各常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の構成が変わりました。市民部、市民協働部は、新たに市民教育厚生委員会で審査・調査を行うこととなりました。また、松尾哲也前副議長の辞職に伴う副議長選挙も行われ、三宅智加子議員を選出しました。さらに、6月10日の本会議において、松尾哲也議員を監査委員に選任しました。



三宅 智加子
副議長

5月20日の臨時議会で副議長に選任されました三宅智加子です。「行政と議会は車の両輪である」という議会の使命を果たす為に、市民の皆様の思いを一つにまとめ、行政に意見を述べるよう努力します。「政治は、市民一人一人の幸せのためにある」をモットーに、生まれ育った大好きな街大牟田の為に働いてまいります。

委員会構成（5月20日選出）◎委員長、○副委員長、（ ）会派略称

■総務委員会

所管：会計課、企画総務部、消防本部、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の委員会に属しない事項



◎平山光子(護) ○徳永春男(自) 入江裕二郎(自) 塚本二作(自)



大野哲也(公) 森田義孝(護) 橋積和雄(共) 猿渡軍紀(無)

■都市環境経済委員会

所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局



◎城後正徳(無) ○山口雅弘(自) 境 公司(自) 西山照清(自)



塩塚敏郎(公) 平山伸二(公) 松尾哲也(護) 高口講治(共)

■議会運営委員会

議会の運営、会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関すること



◎境 公司(自) ○平山伸二(公) 森 竜子(自) 塩塚敏郎(公)



平嶋慶二(護) 古庄和秀(護) 橋積和雄(共)

■市民教育厚生委員会

所管：市民部、市民協働部、保健福祉部、教育委員会



◎光田 茂(自) ○古庄和秀(護) 田中正繁(自) 森 竜子(自)



今村智津子(公) 三宅智加子(公) 平嶋慶二(護) 北岡あや(共)



吉田康孝(無)

■議会改革特別委員会

議会改革に関すること



◎大野哲也(公) ○田中正繁(自) 徳永春男(自) 山口雅弘(自)



今村智津子(公) 塩塚敏郎(公) 平山光子(護) 森田義孝(護)



橋積和雄(共) 吉田康孝(無)

人 事 議 案

(6月10日選出)



監査委員

松尾哲也(護)

農業委員会委員

森 竜子(自)

議会報編集委員会

(6月7日選出)



◎吉田康孝(無) ○北岡あや(共) 森 竜子(自) 大野哲也(公)



平嶋慶二(護)



本会議運営のあらまし

■新たな委員会構成など

第1回臨時会

平成25年度第1回臨時会は、5月20日に招集され、1日間の会期で運営しました。

臨時会では、専決処分の議案3件と、委員会条例の一部改正について可決し、各常任委員、議会運営委員の選任と特別委員会の構成変更を行うとともに、各委員会の正副委員長を選出等行いました。

最後に松尾哲也前副議長の辞職に伴う副議長選挙を行い、新たに三宅智加子議員を選出しました。

■議員報酬8%減額を可決

第2回定例会

平成25年度第2回定例会は、6月10日に招集され、6月21日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、24年度追加補正で二重計上となった25年度事業費等の5億1,102万円を減ずる補正予算、三川坑跡活用検討審議会の設置等を定める条例議案や、市長・職員等の給与を削減する条例議案などの議案18件、議員報酬を8%減額する条例案及び意見書案の発議7件、財団法人

大牟田文化会館の事業報告などの報告8件、請願1件の、合わせて34件でした。

本会議では、三川坑跡保存整備、職員給与、健康対策、快適住マイル改修事業などの諸課題について、11人の議員が登壇し、市長をはじめ執行部に質問しました。

本会議最終日までに、請願1件、意見書案1件及び報告8件を除いた議案を原案どおり可決、同意して、本定例会を閉会しました。

歓迎議長室

6月第二日曜日は「花の日」

光の子幼稚園(写真上)と高取聖マリア幼稚園(同下)から、キリスト教では6月第二日曜日が花の日とされているとして、それぞれ議会に花が贈られました。



永年勤続表彰伝達式

5月22日の全国市議会議長会第89回定期総会において、8人の議員が永年勤続表彰を受け、その表彰伝達式を6月10日に議場で行いました。

■表彰議員 (議員として30年以上) 城後正徳議員、(同20年以上) 山口雅弘議員、(同15年以上及び全国市議会議長会評議員感謝状) 西山照清議員、(同10年以上) 入江裕二郎議員、橋積和雄議員、三宅智加子議員、平山伸二議員、古庄和秀議員

(前列左から)
古庄和秀議員、西山照清議員、城後正徳議員、山口雅弘議員、
(後列左から)
入江裕二郎議員、橋積和雄議員、平山伸二議員、三宅智加子議員



議会日誌(4月～6月)

【4月】

12日 議会報編集委員会
18日 教育厚生委員会、各派代表者会
19日 議会改革特別委員会
25日 総務委員会
30日 各派代表者会

【5月】

10日 各派代表者会
13日 各派代表者会、議会運営委員会
20日 各派代表者会、議会運営委員会、第1回臨時会本会議、総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会、市民教育厚生委員会、議会改革特別委員会
24日 市民教育厚生委員会
29日 議会改革特別委員会

【6月】

3日 各派代表者会、議会運営委員会
6日 総務委員会、議会改革特別委員会
7日 議会報編集委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
10日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議(開会)
14日 第2回定例会本会議(質疑質問)、請願等調整委員会
17日 第2回定例会本会議(質疑質問)
18日 第2回定例会本会議(質疑質問)、各派代表者会、請願等調整委員会
19日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
21日 各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会、第2回定例会本会議(採決、閉会)、議会報編集委員会

他議会からの行政視察(4月～6月)

月	日	自治体名	視察項目
4	23	三重県津市	メガソーラー事業
	25	山形県鶴岡市	メガソーラー事業
5	7	愛知県名古屋市中区	放置自転車対策
	8	東京都葛飾区	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	9	大阪府泉南市	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	14	長野県須坂市	大牟田市災害時等要援護者支援制度
	17	熊本県八代市	大牟田・荒尾RDFセンター
	21	愛媛県四国中央市	ありあけ浄水場施設等整備及び運営事業
	27	福岡県交通運輸産業労働組合評議会、福岡県交通運輸産業労働組合協議会議員懇談会	三池港やコンテナヤードの現状、大牟田市の交通運輸政策の現状と課題
6	26	富山県滑川市	大牟田市災害時等要援護者支援制度



平成25年度大牟田市議会 第1回臨時会及び第2回定例会 議案等の審議結果一覧

議案等名				自民	公明	護憲	共産	無所属			賛成数	審議結果
				8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員	城正徳議員	吉田康孝議員		
第1回臨時会	議案	第1号	専決処分について(平成24年度大牟田市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	24	全会承認
		第2号	専決処分について(平成24年度大牟田市土地区画整理事業特別会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	24	全会承認
		第3号	専決処分について(大牟田市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	24	全会承認
	発議	第1号	大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
第2回定例会	議案	第4号	平成25年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	21	多数可決
		第5号	平成25年度大牟田市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第6号	平成25年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第7号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第8号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第9号	大牟田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第10号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第11号	大牟田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第12号	大牟田市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第13号	大牟田市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第14号	大牟田市市民活動等多目的交流施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第15号	大牟田市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第16号	大牟田市市長及び副市長の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第17号	大牟田市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第18号	大牟田市企業管理者の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第19号	大牟田市一般職の職員等の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	21	多数可決
		第20号	過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第21号	大牟田市監査委員の選任について(松尾哲也議員)	○	○	○	○	○	○	○	24	同意
	発議	第2号	大牟田市農業委員会委員の推薦について(森竜子議員)	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
		第3号	介護保険制度の改善を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	8	少数否決
		第4号	より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書案	×	○	○	○	×	×	×	13	多数可決
		第5号	憲法第96条改正に関する意見書案	×	○	○	○	×	×	×	13	多数可決
		第6号	原発事故子ども・被災者支援法に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書案	×	○	○	○	×	×	×	13	多数可決
		第7号	教育予算の拡充を求める意見書案	×	○	○	○	×	×	×	13	多数可決
		第8号	大牟田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	請願	第1号	介護保険制度の改善を求める意見書提出の請願	×	×	○	○	×	×	×	8	不採択
	報告	第1号	平成24年度大牟田市一般会計予算継続費に係る通次繰越しについて	報告を受けた(採決なし)								
		第2号	平成24年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて									
		第3号	平成24年度大牟田市水道事業会計予算の繰越しについて									
		第4号	平成24年度大牟田市公共下水道事業会計予算の繰越しについて									
		第5号	大牟田市土地開発公社の事業報告について									
		第6号	財団法人大牟田文化会館の事業報告について									
		第7号	公益財団法人大牟田市地域活性化センターの事業報告について									
		第8号	地方独立行政法人大牟田市立病院の事業計画について									

会派名称	所 属 議 員 (★は会派代表)
自由民主党議員団	光田 茂★、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清(議長)、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求め、反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。

本表については、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記しています。なお、空白は欠席または表決の棄権を表します。また、議長は採決に加わることはできません。



若者が住みやすい 環境づくりの政策を



自由民主党議員団
光田 茂 議員

6月14日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について（1）平成24年度一般会計決算見込みと単独事業の推進（2）近代化産業遺産と三川坑の管理運営（3）中心市街地の活性化計画の進捗状況（4）定住自立圏構想の進捗状況と今後の考え方
■2 若年家族への生活環境の支援政策について ■3 小・中学校の土曜授業の進捗状況について ■4 小・中学校の適正規模・適正配置における小中一貫校の考え方について ■5 わくわくシティ基金取り崩し額の返還について ■6 スポーツを通した市民の健康づくりと、スポーツ施設の整備について

市長の政治姿勢について

平成24年度一般会計決算見込みと 単独事業の推進

問 実質収支累計14億円の黒字決算見込みをどう受け止めているか。

答 経常経費の抑制などを着実に実施したことや、市税や普通交付税などの主な一般財源について一定額を確保できたので3年連続の黒字となったが、いまだ財政構造の抜本的な改善には至っていないと考えている。

問 単独事業も積極的に取り組むべきだと思うがどうか。

答 23年度から補助事業など財源の有無にかかわらず積極的に事業を行えるよう、これまでの緊縮予算の中で取り組めなかったまちづくりに必要な先進的、独創的な単独事業に特別枠を設け、各部の創意工夫を促す取り組みを行っている。

若者家族への生活環境の 支援政策について

問 住宅、福祉及び教育部門の支援政策について聞きたい。

答 若者が定着するには仕事があり、教育・福祉が充実しているまちが望まれ、そこに必然的に必要となるのが住む場所だと思う。本年3月に市営住宅の一部の団地に新婚・子育て枠を新設し、2戸の募集を行った。また保育所の園舎

老朽化整備と保育料の軽減、さらに教育施策では、教育施策大綱の中で学力向上、体力向上の数値目標を盛り込みながら、教職員の人的な配置等にも取り組んでいる。

小・中学校の土曜 授業の進捗状況

問 24年6月定例会でも質問したが、その後の進捗状況は。

答 今年度は代休日を伴わない新しい制度での土曜授業を年1回程度試行的に実施し、その成果と課題を明らかにして検討したい。

わくわくシティ基金 取り崩し額の返還について

問 23年9月定例会で、上記基金は本来あるべき姿にと質問した。23年度末時点での累積赤字解消のために1億円を取り崩し、解消したが、本来市が単独予算で解消すべきことだ。改めて取り崩した額の返還の考え方を聞きたい。

答 市の財政が厳しい中で、基金を取り崩し、スポーツ・文化施設の改修工事等に活用した経緯がある。

23年度にスポーツ振興計画を策定、今年度からは文化芸術振興プランの策定に取り組む。

スポーツ・文化の振興を図る観点から、基金そのもののあり方を含め総合的に検討する必要があると考える。

スポーツを通した市民の 健康づくりと、スポーツ 施設の整備について

問 スポーツとは、楽しみを求め、勝敗を競う目的で体を動かすことである。体を動かすことは幸せであり健康にもつながり、チャレンジデーの参加率の増加は喜ばしいことである。

中でもスポーツを行う場所の整備は重要であり、特に高齢者等が利用している諏訪公園については、日陰やベンチもないため、設備整備の必要があるのではないかと。

また、緑地運動公園についても、水はけの改善やベンチ設置など、さらなる整備をお願いしたい。



市民グラウンドゴルフ大会

答 諏訪公園に休養施設がないことは十分承知しており、多くの利用団体から要望等もあるので、指定管理者と協議し整備を進めたい。

また緑地運動公園も、施設が老朽化しており、設置者である福岡県とも調整を図りながら、計画的な改修等に努めている。指摘の件も県に要望していきたい。



新大牟田駅の利用促進に向け さらなる魅力と賑わいの創出を



社民・民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員

6月14日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢とまちづくりについて（1）第2期実施計画と今後のまちづくり（2）地方自治体に要請された「給与減額支給措置」（3）自治（まちづくり）基本条例制定（4）三川坑跡の保存・整備 ■2 九州新幹線新大牟田駅の魅力と賑わいへの今後の対応・対策について（1）新大牟田駅観光プラザの利用状況（2）新大牟田駅利用促進に向けた二次交通の利便性向上（3）新大牟田駅周辺の賑わいにつながる事業 ■3 小学校給食事業について（1）給食事業委託校の状況（2）併用方式（直営拠点校と民間委託校）の今後の方向性（3）今年9月からの委託校の保護者等への説明状況（4）直営校から委託校への今後のスケジュール

九州新幹線新大牟田駅の 魅力とにぎわいへの 今後の対応と対策について

新大牟田駅利用促進に向けた 二次交通の利便性の向上

問 二次交通の利便性の向上は重要な課題。市としての取り組みは。

答 西鉄バス大牟田（株）に対し、新幹線との接続を考慮した路線バスダイヤの検討の申し入れを行った。また、以前からの懸案だった空港バスの同駅への乗り入れの要望を本年4月に行い、具体的に検討すると回答された。

引き続き同駅の利用促進に向けアクセス向上を促し、利便性が向上するよう取り組みたい。



新大牟田駅

新大牟田駅の周辺の 賑わいにつながる事業

問 上記について聞きたい。

答 6月9日に、地元や市民グループで組織する実行委員会による新幹線朝市が大盛況のうちに開催された。また、観光協会が主体となって同駅や地元等と連携してフリーマーケット等のイベントを開催し、本市の観光情報を積極的に

来場者に提供することとしている。

今後も引き続き、地元並びに関係機関等と連携を図りながら、にぎわいの創出に努めたい。

市長の政治姿勢と まちづくりについて

第2期実施計画と 今後のまちづくり

問 上記について聞きたい。

答 第2期実施計画に掲げている事業を着実に実施していくことが将来のまちづくりへの足がかりになると考えている。

次世代育成支援や教育施策事業に重点を置いたソフト事業の充実など、これらの利用推進によって総合計画に掲げる三つの都市像「いい、やすらぐ安心都市」「活力と創意にあふれる産業都市」「市民と歩む自立都市」の実現に全力を挙げて取り組んでいく。

問 今年度の快適住マイル改修事業の申し込みは昨年度よりも多く、受付開始からわずか1時間30分、127件で受付を終了し、並んでいた多くの市民が受付されなかった。

この実態を踏まえ、今後どのように取り組まれるのか。

答 同事業の反響の大きさを感じている。今回の状況を十分検証し、今後の事業への取り組みについては補正予算での対応を含め、現在検討を行っている。

自治（まちづくり） 基本条例制定

問 同条例制定を25年度から27年度の新規事業として挙げられているが、同条例制定の目的と趣旨について聞きたい。

答 自治基本条例は、まちづくりの基本的な理念と原則、役割分担、仕組みなどを定めるもの。大牟田市民憲章の理念を市民と行政が共有し、共通の目的に進んでいくための基本ルールとして制定したい。

なお、条例全体の策定は、広く市民意見等を聞きながら、27年度の制定を目指したい。

三川坑跡の保存整備

問 三川坑跡活用検討審議会に対する保存整備にあたっての諮問内容を聞きたい。

答 諮問内容については、近代化産業遺産を活用したまちづくりプランの三川坑跡の保存・活用方針に示している三川坑跡敷地内の施設や機械等の保存の方法、三川坑周辺の近代化産業遺産や関連施設との一体的な活用策などを基本に、保存施設の取捨選択、施設の修復や見せ方の諮問を予定している。

なお、三川坑跡の活用については、審議会の設置のほかに、現在、より多くの市民意見を取り入れる仕組みを検討している。



他市より一歩先を行くような未来を見据えた大胆な政策を



公明党議員団
今村 智津子 議員

6月14日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 防災・減災対策
 - (2) 定住人口の増加
 - (3) 子ども・子育て支援
- 2 自治体 ICT の取り組みについて
- 3 健康対策について
 - (1) 万全な風疹対策
 - (2) 子宮頸がんワクチンの正しい認識
 - (3) 子宮頸がん細胞診検査とHPV検査の併用

市長の政治姿勢について

防災・減災対策

問 市が所有する全ての社会資本や公共施設の維持管理など、長期的なコスト縮減や平準化を図るといふ、アセットマネジメントの考え方の必要性について聞きたい。

答 これまでの事後的な維持・修繕から、予防的な維持・修繕及び計画的な改築・更新へと転換を図る。施設の長寿命化と長期的なコストの縮減・平準化を図り、計画策定において把握した改修履歴や費用、利用状況などを白書として取りまとめ公開し、情報を共有しながら安全性や利便性の確保に努め、アセットマネジメントの考え方を取り入れる。

定住人口の増加

問 今後の少子高齢化を見据え、どのような手だてで定住人口を増やそうと考えているのか聞きたい。

答 まちの魅力を高めるといふことに尽きる。次世代育成支援や教育施策・事業に重点を置いたソフト事業の充実と企業誘致や地場産業の振興による雇用の場の創出・確保、中心市街地活性化の取り組み、防災・防犯の安心安全の取り組み、大蛇山や近代化産業遺産など本市固有の地域資源を活用した

まちづくりなどに取り組む。

問 定住促進に係る事業が来年3月で切れるが、次の手を打つ計画はあるのか聞きたい。

答 3年間の事業の総括を行って成果をみた中で、また考えていきたい。



子ども・子育て支援

問 次世代育成支援行動計画をどう具体化していくのか聞きたい。

答 次の世代、未来を拓く子どもたちの育成は、喫緊かつ重要な課題。特に次世代育成支援策に重点を置いたソフト事業の充実に取り組む。いきいき子どもプランⅡ後期行動計画に基づき取り組んでいく。



自治体 ICT の取り組みについて

問 災害時において行政事務が行われるよう、その根幹をなす行政システムの事業継続についての考えを聞きたい。

答 情報資産の消失を防ぐため、住民情報や税などの情報資産を磁気テープなどの外部媒体に記録をし、遠隔地に保管するサービスを本年3月より利用をし、対応している。行政システムの事業継続についても、27年度を目途にICT部門の業務継続計画を策定することとしている。

健康対策について

万全な風疹対策

問 風疹の流行が全国に広がっている。社会全体で子どもを守るためにも、ワクチン接種が大切である。費用負担の軽減のために、他の自治体では市独自に助成しているところもある。先天性風疹症候群の発生を予防するため、本市の考えを聞きたい。

答 新婚夫婦向けへの情報提供、注意喚起、医療機関への情報提供等の対策を実施しており、今後も市民への情報提供に努める。接種費用助成については、国等への要望を行っていきたい。



介護保険制度の要支援者外し 市として介護サービスの確保を



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

6月17日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 介護保険制度の改定に伴う対応策
 - (2) 地方公務員の役割から見た給与削減と職員数削減
- 2 水道一元化における大牟田市の役割について
- 3 快適住マイル改修事業について

市長の政治姿勢について

介護保険制度の改定 に伴う対応策

問 介護保険制度の改定については国で審議中であり、介護保険から要支援を外すという内容である。

本市に与える影響と今後の対応策について聞きたい。

答 今の段階では言及できない。

要支援になった人が重篤化しない、要介護にならないように介護予防サービスを行っている。要支援者に対する介護予防サービスは、継続していかなければならないという考えのもとに、これから市長会を通じて、要支援の取り扱いについて、国に対して要望活動をしていきたい。

25年4月末時点の要支援者数

○要支援1	1,173人
○要支援2	954人
合計	2,127人

※要介護、要支援者全体に占める
構成比 27.6%

地方公務員の役割から見た 給与削減と職員数削減

問 本市は、高齢化率が高く、地域経済も低迷している実情があり、震災や豪雨の対策を考えると、行政の担う役割は非常に大きい。

公務に支障をきたさないように、大牟田市の実情を考慮した職員給与や職員数が必要だと考えるがどうか。

答 今回の職員の給与削減については、短期的、臨時的な措置であり、職員は東日本大震災支援という趣旨を理解し、納得をしている。行政サービスに影響が出ることはない。他の類似団体と比べまだ職員数は多いので、市の職員定数の削減については、同程度まで落とす必要がある。

水道一元化における 大牟田市の役割について

問 補償給水を受けている世帯が市内で約2,600世帯あり、水圧や水温の問題、市水への切り替え後の水道料金等について、様々な意見が出されている。補償義務が削減する根拠についても納得できない方が多くいる中で、水道一元化に向けて、日本コークス工業がしっかり責任を果たすように、市として、解決に踏み出してもらいたいがどうか。

答 行政は補償問題に関与しないことを基本としている。日本コークス工業において、鉾害補償債務の消滅により鉾害補償給水を終了すると判断されたことから、行政の責任として、来年4月からの給水確保が最優先の課題であると判断し、水道の一元化の取り組みを行っている。

問 水道料金の激変緩和措置を設け、その経済的な負担を日本コー

クス工業に要求することはできないか。

答 行政として答える立場にはない。4者協議の中でそのような議論をしたこともあるが、北岡議員の望まれるような結果にはなっていない。

快適住マイル 改修事業について

問 6月3日の申請開始後、わずか1時間半で予算額に到達したが、この事業について本市の評価を聞きたい。

答 市内の中小企業及び地域経済の活性化、市民の居住水準の向上に寄与したものと認識している。

問 予算の増額や申請方法の課題についてはどのように考えているか。

答 予想を超える申請に、この事業への反響の大きさを感じている。実施時期や代理申請の問題について、今回の状況を十分検証し、今後、補正予算での対応を含め検討を行っている。

快適住マイル改修事業の状況

【24年度】

○予算額	1,000万円
○申請件数	143件
※開始から1週間で申し込み締め切り	
○工事総額	1億5,000万円

【25年度】

○予算額	1,000万円
○申請件数	127件
※開始から1時間半で申し込み締め切り	



人口減に歯止め効かず 大牟田版成長戦略を

自由民主党議員団 塚本 二作 議員

6月17日 一問一答方式により質問

■1 三池港のリサイクルポート（総合静脈物流拠点港）化について（1）リサイクルポートの意義と三池港の特長（2）リサイクルポート指定後の市の対応（3）環境リサイクル関連企業の立地促進（4）国の地域活性化総合特区制度の活用 ■2 定住自立圏構想の一層の具現化と中心市（大牟田）の役割について（1）21世紀活力圏創造整備計画（2）中心市の求心力の強化と市長の決意（3）生活・ネットワーク・マネジメント能力強化の重点施策（4）有明圏域定住自立圏のエコタウンエリア化 ■3 グリーンアジア国際戦略総合特区制度の活用について（1）特区への追加指定の経緯と利点（2）法人等指定に向けての市の努力・方策 ■4 国際化・情報化時代への対応について（1）地域経済のグローバル化のための市の支援（2）将来に向けた誇れる小学校英語教育の充実 ■5 市長の政治姿勢について（1）国の緊急経済対策の地元への波及効果（2）都市計画区域区分「線引き」の将来的見直し

三池港のリサイクルポート （総合静脈物流拠点港）化について

問 リサイクルポートの意義と三池港の潜在的特徴を聞きたい。

答 三池港は15年4月に国土交通省よりリサイクルポートに指定され、臨海部周辺へのリサイクル産業誘致の誘導策として期待している。高いポテンシャルを有しており機能発揮に努めたい。

有明圏域定住自立圏の エコタウンエリア化

問 能代港をリサイクルポートとした秋田県北部エコタウンエリアの例のように、有明圏域において同様の構想に挑戦する気はあるか。

答 大牟田エコタウンのこれまでの経緯、各構成市町の考え方等から慎重な対応が必要である。

グリーンアジア国際戦略総 合特区制度の活用について

問 本市は24年8月に追加指定を受けた。利点について聞きたい。

答 特区関連事業で設備投資を行う場合の法人税軽減等の各種支援・特例措置が受けられる。特区のメリットを活用し、企業誘致や設備投資の促進等、環境を軸とした産業拠点の構築を図りたい。



市民目線に立った 住民サービスの提供を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀 議員

6月17日 一問一答方式により質問

■1 行政サービスの原点と人が真ん中のまちづくりについて（1）「ひろしま菓子博2013」の入場制限からみる行政の立ち位置（2）人にやさしい公共施設の考え方（3）人にやさしい地域防災計画 ■2 障害者優先調達推進法施行後の本市の立ち位置について（1）これまでの本市の政策の総括と今後の決意（2）優先調達方針（3）今後の体制づくり ■3 三川坑跡の活用について（1）説明責任の所在

人に優しい公共施設の 考え方について

問 これから作られる公共施設維持管理計画では、駐車場の屋根や多目的トイレ、授乳室などの設置の配慮が必要ではないか。

答 中長期的な視点から、市民ニーズや利用者の声も把握しながら改修等を行うことで、利用者満足度の向上にも努める。

障害者優先調達推進法施行後 の本市の立ち位置について

問 本市の政策の総括と今後の決意を聞きたい。

答 これまで高齢者、母子寡婦、障害者の雇用を確保し、経済的な自立支援を図るため、公共施設の管理運営、清掃業務など、様々な分野で委託している。今後も関係機関と協働して、雇用の確保に取

り組み、高齢者、母子寡婦、障害者の方の自立支援を推進していく。

三川坑跡の活用について

問 具体的なスケジュールは。

答 譲渡契約締結までの間、無償による使用賃借契約を締結し、応急対策を行う。年内を目途に無償譲渡契約、所有権移転登記を行う。



子どもの安全な通学のためにも 空き家・廃屋対策をしっかりと

公明党議員団 塩塚 敏郎 議員

6月17日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 魅力ある住環境形成の推進について（1）空き家、廃屋の適正管理（2）空き家、廃屋対策と有効活用 ■2 商店街と地域活性化の取り組みについて（1）空き店舗の状況（2）空き店舗対策と有効活用 ■3 肝炎対策について（1）ウィルス性肝炎対策の取り組み

空き家、廃屋の適正管理

問 本市の現在の空き家・廃屋数と、対策について聞きたい。

答 20年度に総務省が行った住宅・土地統計調査によると、住宅の60,110戸中空き家が9,360戸、空き家率15.6%。対策については、基本的には民事上の問題だが、近隣からの相談に応じ、職員が現地

調査を行い、所有者に管理責任を教示・指導している。

空き店舗対策と有効活用

問 中心市街地の空き店舗対策は。

答 ①中心市街地にぎわい交流施設の整備②新栄町駅前地区市街地再開発事業の促進③まちなか居住の促進を柱に取り組み、商工会議

所が策定したグランドデザインへも支援を行い活性化につなげたい。

ウィルス性肝炎対策の取り組み

問 上記について聞きたい。

答 市内の約70の医療機関で無料で検査ができる事業を実施。また日本肝炎デーの普及啓発を図るため、広報おおむたで紹介する。



一般質問



試される「校区まちづくり協議会」支援体制

自由民主党議員団 徳永 春男 議員

校区まちづくり協議会の事業運営に対する活動支援からみた人員配置の検討・見直し

問 専属事務員の配置は。**答** 活動状況等に応じ、各校区で検討をお願いしたい。また、交付金増についても検討したい。

農地集約に対する今後の方向性と圃場整備に係る具体的な取り組み

問 上記について聞きたい。**答** 策定中の人・農地プランで方向性を明確にし、整備可能な地域で重点的に推進を図る。地元説明会に入り進捗に取り組みたい。

ノーカーデーの必要性和その取り組み

問 公共交通維持の観点から、行政が先頭に立ち取り組む考えは。**答** 7月以降、毎月第3水曜日を

基本に実施する予定としている。

食育推進計画の中間評価に対する認識

問 概ね図られており評価できるとする判断基準は。**答** 基準値を上回る「上昇・改善傾向」が約7割の項目であったことを評価。26年度の目標達成に向け、事務局会議等で十分検討したい。

6月18日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 大牟田市食育推進計画の中間報告と今後の計画の見直しについて（1）大牟田市食育推進計画の中間評価（13項目の数値目標）に対する認識（2）中間評価以降の推進計画の見直し及び次期食育推進計画の取り組み ■2 大牟田市の地域コミュニティづくりと公民館活用のあり方について（1）校区まちづくり協議会の事業運営に対する活動支援体制から見た人員配置の検討見直し（2）校区まちづくり協議会と今までの地区公民館の役割とあり方から見た合理的運営 ■3 大牟田市の農業実態と国策による人・農地プラン及び実施体制について（1）農地集約に対する今後の方向性と圃場整備に係る具体的な取り組み ■4 バス、電車の利用者減少対策について（1）ノーカーデーの必要性和その取り組み



少人数学級を推進し全国学力テストも見直すべき

社民・民主・護憲クラブ 平山 光子 議員

少人数学級の推進

問 昨年9月に文部科学省が策定した少人数学級推進計画を、安倍政権となって見直した。文科省資料では少人数学級の効果が示され、国民も望んでおり、早急に実現すべき。教育長の見解は。**答** 速やかに第8次の定数改善計画の策定が行なわれ、環境整備が

進められることを望んでいる。

全国学力テストによる点数競争の過熱

問 全国で40億円もかける、いわゆる学力テストは必要なのか。点数競争が過熱し、学校別の成績公表も検討されているが、見解は。**答** 調査の目的や趣旨、序列化や過度な競争につながらないように

の配慮事項に沿った取り扱いを今後もしていく。

早期の発達支援

問 山口県は5歳児健診・発達相談という先進的な取り組みを行っている。本市も検討を。**答** 県市長会を通じ、国に法的整備、財政支援を要望している。

6月18日 一問一答方式により質問

■1 教育行政の諸課題について（1）少人数学級の推進と教職員の定数改善（2）義務教育費国庫負担制度（3）全国学力テストによる点数競争の過熱と小中学校学力向上推進事業 ■2 子ども支援の充実について（1）学童保育所等へのバス送迎事業（2）早期の発達支援（3）子ども・子育て支援新制度施行に向けた準備



子ども・子育て支援新制度への対応と地域健康力アップについて

自由民主党議員団 田中 正繁 議員

子ども・子育て支援新制度への対応

問 新制度が27年度より新しくスタートするが、今後の対応は。**答** いきいき子どもプランⅡ後期行動計画の推進を図り、新制度の本格実施への準備を進める必要がある。制度実施に向けニーズ調査を行い、子ども・子育て支援事業計画の策定を進めていきたい。

健康づくりと健康増進

問 県内でも受診率の低い各種検診と地域健康力アップ推進事業の今後の取り組みは。**答** 各種がん検診の受診率は、地域健康力アップ推進事業により指定した5つのモデル校区で41%の増加、モデル校区以外でも12%の増加となっている。今後もモデル

校区の拡充を図り、健康増進計画を策定し、健康づくりに取り組んでいく。

教育環境の充実

問 教室の暑さ対策について聞きたい。**答** 扇風機等が購入できるよう各学校へ予算を5万円増額している。

6月18日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 定住自立圏と定住政策について（1）定住自立圏の今後の方向性（2）定住政策の推進 ■2 市長の政治姿勢について（1）健康づくりと健康増進（2）子ども・子育て支援新制度への対応（3）教育環境の充実（4）観光資源と観光情報の発信



一步踏み込んだ 公平・公正な収納対策を

無所属 吉田 康孝 議員

6月18日 一問一答方式により質問

- 1 未納対策について
(1) 上下水道料金、し尿処理手数料、保育料、給食費等
- 2 校区まちづくり協議会の進捗状況について
(1) 組織率40%の根拠

未納対策について

問 し尿処理手数料・保育料について、未納状況と対策は。

答 し尿処理手数料は収納率95.51%、対策は口座振替の推進と個別訪問。保育料は、収納率96.65%、対策は夜間の電話催告。

問 給食費の未納状況と対策、ペ

ナルティについては。

答 23年度は未納79名で金額146万円、金額の割合は0.6%。対策は文書送付と家庭訪問を実施。ペナルティはない。

問 未納対策は部局間の連携がなく、逃げ得になっている。収納対策一元化の考えは。

答 法令の違いもあり、他都市の

状況等を調査し検討したい。

まちづくり協議会の交付金

問 交付の要件である、町内公民館の加入率40%の根拠は。現状を踏まえ、見直しが必要では。

答 加入率50%以上が必要と思うが、暫定的に40%としている。地域との協力で達成可能と考える。

トピックス

安心して生活できるまちを目指して



ドクターヘリも悪天候の中参加しました。

■20年ぶりに開催

6月2日、20年ぶりに大牟田市で開催された福岡県総合防災訓練には、多くの市民の参加と医療関係者も参加、本市議員も熱心に訓練を見学しました。

災害時は、自助・共助・公助による救助活動が求められますが、中でも、共助における消防団の皆さんが勢ぞろいした姿には頼もしささえ感じるところがありました。

■暴力に屈しない

大牟田市暴力団追放市民総決起大会が7月6日に行われました。

市民、警察、議会、行政が一体となって、「暴力には屈しない」とシュプレヒコールで氣勢を上げました。



インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。9月上旬から閲覧できます。ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。

訂正とお詫び

第184号（5月1日号）の5ページ「平成25年度各会計予算の概要」表中に誤りがありました。お詫びして訂正します。

区 分	予 算 額	
	誤	正
後期高齢者医療特別会計	1億3,322万円	21億3,322万円
病院事業債管理特別会計	1億759万円	11億759万円



長い歴史と伝統の技に培われてきた、大牟田市を代表するまつり「大蛇山」。

今年も大蛇山が勇壮な姿で練り歩き、来場者に興奮と感動を与えました。その製作過程はあまり知られていません。匠の技と伝統を守る祇園六山の男衆に話を聞きました。

大蛇山を形取っている主な材料は竹、ワラ、紙の三つだけです。孟宗竹と真竹、それぞれの特徴を活かし骨組みを作り上げ、わらと紙で形を整えます。作業行程はほぼ同じですが、それぞれの山のこだわりと光る伝統の技を紹介します。

匠の技

伝統の技が光る大蛇山の製作現場

連載
おおむた自慢



三池藩大蛇山 三池新町彌劔神社

雌山らしくあえて鮮やかな緑色を強調している。よく見ると歯の形も前歯は弓歯だがほかの歯は三角歯というのも雌山の特徴。細長い女性らしい輪郭ながらも大蛇山の勇壮さは損なわれていないところに匠の技が光る。【地図B】



三池祇園宮

先代の作り手から現在の四十代を中心とした作り手に代わり数余年。後頭部と頭、眉間の三つの「こぶ」の大きさや位置、朱、黒、緑の三色に限った色使いという二つの伝統だけは頑なに守りつつ、若い感覚で雄山らしい、にらみを利かせた表情づくりに取り組んでいる。【地図A】

まつり終了後はどの山でも山崩しが行われます。大蛇(龍)は天上に昇ってしまつので、地に留まらなければならない。その日のうちに崩す習わしというところや、語り手が山崩しの準備中、子供たちに大蛇山の歴史や伝統を守ることの大切さを伝える山若い衆で感謝の気持ちを込めながら解体することや、子供たちだけで山崩しを行い、それぞれ手にしたかけらは家に持ち帰る山などやり方はさまざま。しかし伝統を守り受け継いでいくという思いと感謝の心はどの山にも共通しており、大蛇山を通して、大牟田市の将来を担う子供たちに伝えられています。

各山で継承されている思いと「匠の技は、また来年の夏も魅了してくれること」を。



大牟田神社第二区祇園

唯一、大蛇山の口に「宝珠」を持つ。上あごと下あごの激しい動きが見所のひとつでもあるが、これを支えるのは長年培われた技術。深い緑色で雄々しい顔つきと動きの激しさは雄山ならではの見所である。【地図D】



本宮彌劔神社

祇園の伝統をしつかりと守り受け継ぐことにより、自信と誇りをもって製作に当たるといふと、若い世代の作り手を厳しく指導。色合いは緑に黒を混ぜた重みのある昔ながらの手法で、雌山らしくやさしさの中にも勇ましさを出す工夫も怠らない。【地図C】



諏訪神社

男大蛇と呼ばれているこの山は製作を非公開としており、まつり本番の日までその姿を見ることはできない。大きさは六山の中でも随一で左右に揺れるその姿はダイナミック。色合いは深緑をベースとしているが、十年に一度は白大蛇となる。次回は四年後(平成二十九年)に製作される。【地図F】



三区八剣神社

深い緑色が基調だがブルーの色鮮やかさが目を引く。首からあごのラインの美しさは雌山らしく、沼から出てきたばかりの臨場感も表現。また節目の年などは特別に黄色に輝く金大蛇となることでも知られており、現在のところその姿を見ることのできるのは三年後(平成二十八年)の予定。【地図E】

編集後記

議会だよりを作成して2年が過ぎました。市民の皆様からいろいろなご指導と評価を受けながら編集委員一同、一生懸命頑張っているところです。これからも暖かいご声援をいただければ幸いです。(Y)

■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】北岡あや

【委員】大野哲也 平嶋慶二 森 竜子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp